

令和5年度第4回甘木駅周辺整備基本構想策定会議
議事要旨

日時：令和6年2月9日（金）15：00～16：30

場所：ピーポート甘木第2学習室

1. 開会

（末兼課長より挨拶）前回整備方針を決定し、ゾーニング案にも様々ご意見いただいた。修正案をお持ちしたので、今日も忌憚なくご意見いただけたら。ゾーニングを今日決めるわけではなく、来年度引き続き検討していく予定である。なお、コンセプト検討部会は1月12日の回で終了した。

2. 会長あいさつ

（会長）今日は令和5年度としては最後の会議で、中締めの会議になる。ゾーニング案について意見交換できたら。

3. これまでのふりかえり

- ・資料1, 2, 3に基づいて事務局より説明を行なった。
- 質疑なし。確認された。

4. 議事

（1）整備ゾーニング（案）について

- ・資料4および参考資料に基づいて事務局より説明を行なった。
- ・欠席した高取委員からの意見を事務局から紹介した。

C案が甘鉄・西鉄間の移動距離のバランスや、駅前広場に東方向から入ったときの、イベント広場の全体の視認性の点から良い（賑わい施設にいざなうようなランドスケープ設計上の動線の工夫は必要）。また、多様な広場の事例をまとめているが、屋外と一体的に使えるステージともなる半屋外空間、ヨガ等ができる芝生広場、マルシェ等も可能な舗装面＋そのための電気・水道等の設備の配置が屋外のイベント広場のその後の活用においても重要。自転車・歩行者・自動車（タクシー等含め）の主要動線の設定と安全確保、雨の際にも濡れずに移動できる動線等は検討いただくとよい。市民WSで素晴らしい意見もたくさんいただいております、ぜひそれらを盛り込み、要件に反映いただけたら。

（委員A）C案で一般送迎から西鉄駅舎への距離は？

→（事務局）50mくらい

- （委員A）駅前広場は都市公園になるのか？
- （事務局）都市計画決定されているので道路になる。
- （委員A）市内の施設で駐車場が遠いと意見があって、止めてはいけないところに止めている事例もあるので、乗降場はできるだけ近くが良いと思う。駐輪場も同様でないと成立しないと思う。駐車場との兼用は、イベント利用するとき駐車するクルマはどうするのか？今は無料の駐車場が有料になるのは抵抗感あるのではないかな？敷地があるのに、どうして駐車場にならなかったのか、という話になりかねないので、きちんと利活用されることが重要で広場の運用体制が大切だと思う。
- （会長）きれいに整備されたら有料になっても、とは思わないだろうか？
- （委員B）有料でもいいと思う。送迎だけなら短時間でいい。近隣の店舗などの利用とあわせて運用を考える必要がある。
- （委員C）鉄道利用した証明あれば無料とかいう方法もある。
- （事務局）料金をとりたいというより、駅利用者が使う際に邪魔にならないために料金で利用をコントロールしたい。
- （委員D）料金をとらない方がおかしい。料金をとれば不適切な利用も減ると思う。近隣の住民のための駐車場ではないので。
- （事務局）有料にするためのシステム運用にもお金がかかるので、無料の場合との使われ方とのバランスの議論になると思う。

（会長）前回の二つの案だと、広場が両駅に対してアンバランスだったが、C案はバランスが良い。

（委員E）柳ヶ浦駅はなぜロータリーを分けているのか？

- （事務局）公共交通と一般車を分ける方が公共交通の定時制等のためによいので、分けている。バスシェルターを一般送迎で兼ねるようなプランになっている。
- （委員E）たしかに現在でも、夕方の送迎でロータリーが動かなくなっていることがあると思う。
- （事務局）実態調査でも駐車場で送迎待ちをしている方がいた。朝倉市の方はある程度習慣化されているのではと思い、このようなプランを検討した。
- （委員E）ダブルロータリーはありえるか？
- （事務局）出入り口がふたつになるのは交通量が多い国道に面していると難しい。
- （委員E）にぎわい施設を通って駅舎にアクセスできれば送迎スペースも遠く感じないのでは？
- （事務局）おっしゃる通りである。そのような狙いもあって駅舎の配置案と検討した。

（委員E）C案でバスが乗降場に停車していると一般送迎スペースからロータリーに進入する自家用車から右から来る車が見えにくいのでは？

→（事務局）おっしゃる通りであり、視距確保するように検討していく。

（委員F）甘鉄沿線はパークアンドライドの便利さを売っている。また、個人的にも駐車場は無料という感覚があり、抵抗感はある。一方で放置自動車もあり、悩ましいと思う。

→（会長）運用システムで解決できる話だとは思う。本来利用したい人が利用できるようにすることが大事。

（委員G）バリアフリー用の駐車場、乗降場は組み込まれるのか？

→（事務局）検討していく。

→（委員G）車椅子、ベビーカー、旅行客もいるので、駅のなかと合わせて検討できるか大事だと思う。

→（会長）距離よりも、スムーズにいけるかが大事。

（委員H）シェルターはまだ未定か？

→（事務局）バリアフリーの観点からは必要だと思うが、シェルターは大きな費用がかかるものであり、予算が問題なので今後検討していくことになる。

→（委員I）敷地が広いので、シェルターや植栽等で広場・ロータリー側と駐車場側をバッファ的に区切ると広場に囲われ感がでてよくなるかもしれない。

→（事務局）そのような意図でにぎわい施設も配置しており、今後も検討していく。

（委員J）にぎわい施設等の前面に屋根がのびていると、駅へのアクセス動線としても活用できるのではないか？

→（事務局）おっしゃる通りであり、広場の活用にとってもプラスになる方策であるので今後検討していきたい。

（委員K）駅舎とにぎわい施設はどこが整備するのか？

→（事務局）来年度以降に部会での議論も含めて検討していきたい。朝倉市役所や西鉄以外にも、民間企業等に手をあげていただいて建設に関わってもらう公民連携の事業手法が可能な時代になってきている。今後そのような方向も含めて検討していきたい。

（委員L）西鉄は委員に入っていないが、ゾーニング案のすり合わせは大丈夫か？今後この案は変わっていくのか？

→（事務局）国道の法線も駅舎の位置も未決定であり、現時点ではゾーニングとして検討である。西鉄との調整は重要な事項であると認識している。

→（会長）西鉄とは今後協議していくにあたって市の方針をもっているのは大事。

→（事務局）福岡県や交通管理者、交通事業者、鉄道事業者等、今後多くの関係者と協議

調整を行いながらロータリー等の形状を検討していくことになるので、ゾーニング案は変化していくと考えていただきたい。会長が言われたように、そうした調整を行なっていく際に、朝倉市としてどうしていきたいかを持って調整することが重要であり、市民の皆様にご意見をいただいている。

（会長）大体意見は出尽くしたかと思う。C案を中心に調整を進めていくということでしょうか？

→特に意義なし。

（2）会則の変更

- ・資料5に基づいて事務局より説明を行なった。

→質疑なし。確認された。

5. その他

- ・社会実験の企画について資料（チラシ）に基づいて事務局より説明を行なった。

6. 閉会

（末兼課長）本日も熱心な協議ありがとうございます。ゾーニングについてはC案をベースとして、交通部会、利活用部会で詰めて行きたいと思います。

以上。